

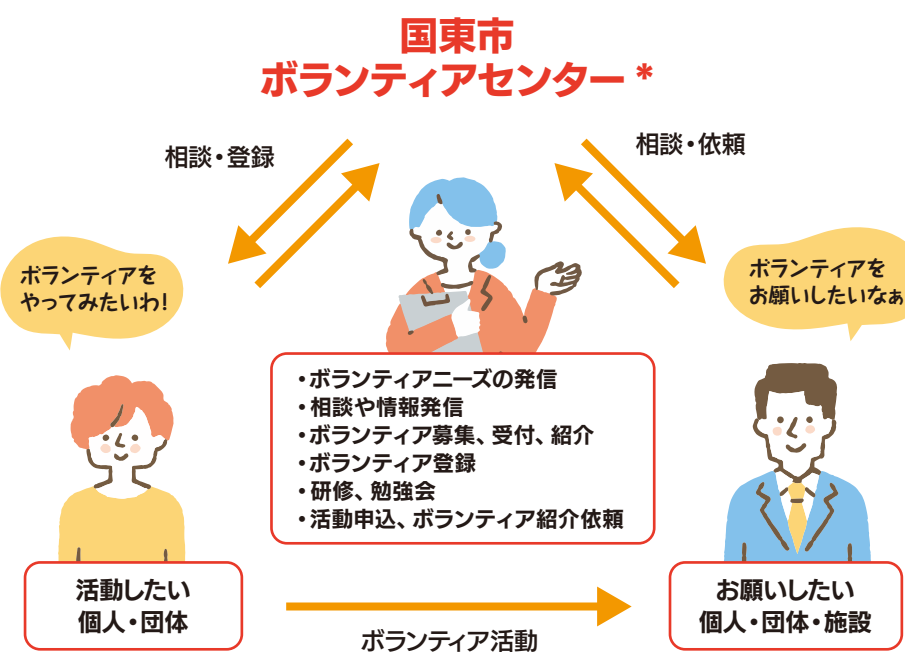
# ボランティアについて 知っていますか



ボランティア・市民活動センター(以下、ボランティアセンター)では、ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなげる活動をしています。現在、40団体、個人の登録も含め約1,000人に登録していただいております。ボランティアをしたい人に幅広い知識を身に付けるための研修会や講習会などを行っています。「何かボランティアしたい」「ボランティアをお願いしたい」と思ったら、ボランティアセンターにご相談ください。

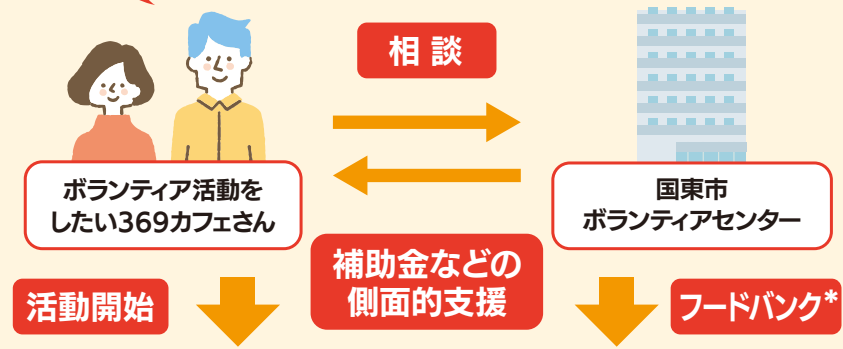
問 国東市社会福祉協議会 68-1976  
(国東市ボランティア・市民活動センター)

## ボランティア・市民活動センターのしくみ



\*ボランティアセンターは、活動したいという方の「やりたい事」や「思い」などを伺い、活動の実現に向け補助金申請やフードバンク事業の利用など側面的な支援をしています。

例えば…「おにっこ食堂」さんの場合



杵築市で子ども食堂をしている、「きつきちょびこ」さんのような活動をしたいと思い、相談しました。ボランティアセンターには、たくさんの支援をいただき、「おにっこ食堂」(子ども食堂)を発足することができました。子どもたちが、楽しく過ごせる居場所づくりとして、また、休日の朝の1食を提供することで、おうちの人にもゆっくりしてもらえたら、という思いでおにっこ食堂の活動をしています。ぜひ多くの方に利用していただきたいです。



369 カフェ  
長谷川 孝明さん 貝瀬 真優子さん

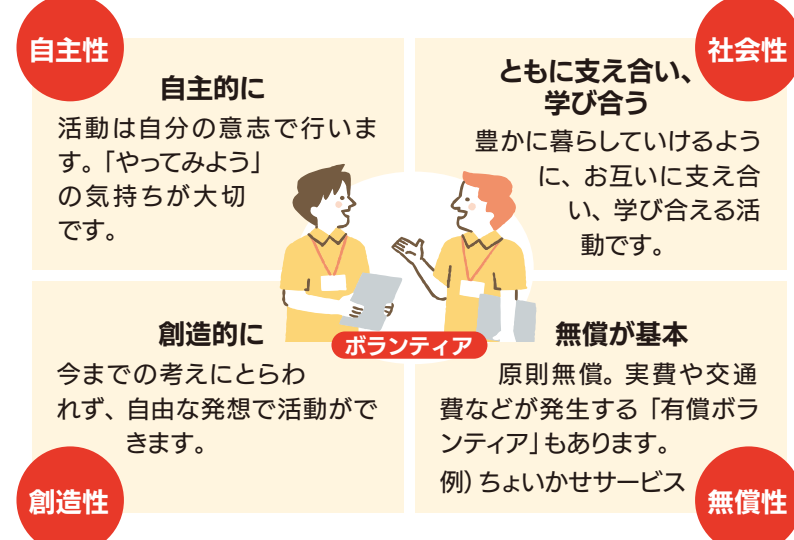


\*「賞味期限内でまだ食べられる」「家では食べない・食べきれない」食品などを企業や家庭からご寄付いただき必要とする人や団体に無償で提供する活動。

## ボランティアとは?

「個人の自発的な意志」から始まるボランティア活動には、決まった形はありません。いつでも自分のことから参加することができます。また、地域社会をより良くしていくことに役に立つとともに、活動する自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。

その他にも、ボランティア活動の性格として、以下の4つがあげられます。



## 災害ボランティアセンター

災害が発生した際に市(災害対策本部)と連携し設置します。被災者からの相談、ニーズ調査をもとにボランティアを適材適所へ送り出し、被災した地域住民の生活復旧・復興の支援とその後の生活支援を継続的にを行います。また、平常時では「出前講座」(防災について学ぼう!)など、防災啓発を行っています。

### ～ 活動内容の一部紹介 ～

#### ニーズ調査

ご依頼があったお宅を訪問し、困りごとなどを聴き取ります。家屋の片付けや体調面、生活面での不安など、福祉の視点を生かして話を聞きます。



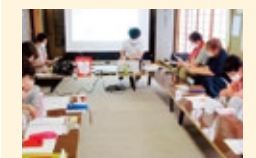
#### ボランティアのマッチング・活動

集まったボランティアをチームに分け、各世帯の被災状況や当日の活動内容を共有し、依頼先に向いて活動を行います。



#### 出前講座：防災について学ぼう!

令和6年台風第10号の話や防災グッズの作り方、日頃からの備えについて、一緒に考えていきます。



くにさき社協だよりNo.74でもご紹介していますのでご覧ください。



## 国東市災害ボランティアネットワーク連絡会

令和5年3月29日(水)に、国東市災害ボランティアネットワーク連絡会を設立しました。この連絡会は、市内で地震、風水害などによる災害が発生した場合を想定し、関係団体の災害時における役割や支援体制、備蓄および備品の整備状況などについて情報交換を行い、災害復旧に対応できる体制の確立を図ることを目的として設立しました。

また、防災・減災、ネットワークに関する研修会などを通じて、「顔の見える関係」をつくることで、災害に強い地域づくりを推進します。



事務局  
国東市社会福祉協議会  
☎68-1976

## 国東市ボランティア協議会

互いに学び合い支え合う地域社会の実現と、青少年の社会性や思いやりの心など豊かな人間性の育成を図るため、ボランティア活動を推進しています。活動内容は、ボランティアに参加したい人とボランティアを必要とする人との橋渡しをしています。ボランティアの要請があれば、要請内容に応じた協力者、協力団体を募り、またその活動を支援しています。

事務局  
国東市教育委員会 社会教育課  
☎72-2121